

(医療機関向けパンフレット)

Teine Keijinkai Hospital  
Pediatric Emergency and Critical Care Center

手稲溪仁会病院

こども救命センター



医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院

# Mission 私たちの理念



- 北海道の重症小児疾患の救急・集中治療を担う
- 各人が尊敬し合い、助け合う医療チームを形成する
- 分野を問わず対応できる General Pediatrician を育成する

## こども救命センター開設にあたって

手稲溪仁会病院ではこのたび「こども救命センター」を新設致しました。当センターはこれまで本院が地域の皆様と培ってきた小児救急、小児集中治療の歩みをさらに発展させ、広大な北海道のどこにおいても重篤な小児を救命するため、北海道における小児救命救急医療の拠点を目指します。重篤な事故や病気のこどもたちの“後遺症なき救命”を目指して、院内体制を再構築し、関係医療機関との連携強化を図り、質の高い小児救命救急医療を提供できるよう努力を続けます。

本院ではこれまでも、道央ドクターヘリ基地病院、北海道メディカルウイング運航管理病院として、道内で発生した重篤な小児の病院間搬送を行ってきました。地域病院で重篤な小児患者の発生があれば、ご連絡を頂いた時点から当センターの専門スタッフが初期管理のご助言や、専用救急車やヘリコプター等による航空搬送などの手配を行い、搬送時またはそれ以前の段階から治療に直結した管理を開始し、小児搬送チームによるお迎え搬送と搬送後の速やかな集中治療に繋がります。なお状況によっては搬送元医療機関との協議により紹介元病院による搬送をお願いしたり、より専門性の高い施設への搬送（三角搬送）を行うことがあります。

重症な小児患者の発生があればいつでもご連絡下さい。迅速に対応致しますので何卒よろしくお願い申し上げます。

こども救命センター長 南雲 淳

相談

情報共有

### 1. 先ずは、ご相談ください

連絡先：手稲溪仁会病院

代表011-681-8111

電話交換手へ「小児科医師へ転院搬送の相談をしたい」とお申し付けください。一度「患者サポートセンター」に転送されますが、担当者へ「小児科医師へ転院搬送の相談をしたい」とお申し付けいただければ、担当医師にお繋ぎして相談に応じます。

搬送決定

搬送準備

### 2. 患児及び患者ご家族へのご説明

転院が決まりましたら、患児及びご家族へその旨の説明をお願い致します。なお、治療方針は転院後に再評価した上で最終的に決定されること、病状が安定した段階で紹介元病院へ逆紹介される可能性があることをご説明願います。

### 3. 転院時のご準備

転院時には以下の準備をお願いします。

- (1) 診療録（診療要約）のコピー：必要な情報部分のみ
- (2) 紹介状（余裕がない場合は後日郵送またはFAXで結構です）
- (3) 各種検査結果、X線検査などの画像検査のコピー

搬送計画

搬送チーム出動

### 4. 搬送手段の決定

患者様の状態と搬送距離に応じて、搬送方法と人員等を決定します。お迎え搬送の場合は、当院救急車両またはヘリコプター等の航空機に専門搬送チームが搭乗して、要請元医療機関へ迎えに伺います。

### 5. 転院時の家族対応

搬送手段により搭乗定員が定められており、車（機）内での処置などの環境確保のため、ご家族は原則同乗できないことを予めご説明願います。なお、搬送チームが評価をした結果、当院ではなく他院への搬送が妥当であると判断される可能性もあります。

安定化

搬送

### 6. 評価と安定化

搬送元医療機関へ到着後、搬送チームは安全に搬送するための評価と搬送準備を行います。状況により追加の検査や処置が必要な場合があります。

### 7. 搬送

患児の状態を確認し、搬送を開始します。

# Feature

## センターの特徴

### 1. 診療体制

当センターは関連する各診療部門と連携して24時間365日、重篤な小児患者に対応しています。小児集中治療専門医をはじめとした小児科医、専門の看護師、臨床工学技士、理学療法士、薬剤師、チャイルドライフスペシャリスト(患児と家族の心のケア)が中心となり、院内の関連部門である救命救急センター(ER)、集中治療室(ICU)、麻酔科、小児心臓外科、その他の外科系各科とともに診療にあたります。

対象となる疾患は、障害臓器や診断名に関わらず重篤な呼吸不全、循環不全、腎不全、敗血症、難治性けいれん、急性脳症、頭部外傷、外傷による内臓損傷など、集中治療管理を必要とする全ての疾患であり、小児の集中治療に精通した専門スタッフが人工呼吸器管理をはじめとして、体外補助循環や血液浄化療法など、24時間体制で対応いたします。



## 2. 重篤なこどもの

### 搬送チーム

当院では、2018年より小児集中治療科の医師を中心に、重篤な小児患者の転院搬送チームを運用しています。北海道は広域であることから、航空搬送を必要とする場合もありますが、当院はドクターヘリ基地病院、メディカルウイング運航管理病院という特徴を活かして、これらの手段も選択肢にいたした搬送コーディネートをを行います。

連絡があった時点から搬送に向けての管理を開始し、搬送チームを派遣して患者状態の安定化と必要なパッキング作業を行い、安全で確実な搬送を支援します。チームは小児集中治療科医師とICU及び小児科病棟の看護師を中心に構成されます。

小児専用救急搬送車両、専用バックボード付きストレッチャー、移動用人工呼吸器などを整備、運用しています。

## 3. こどもの集中治療

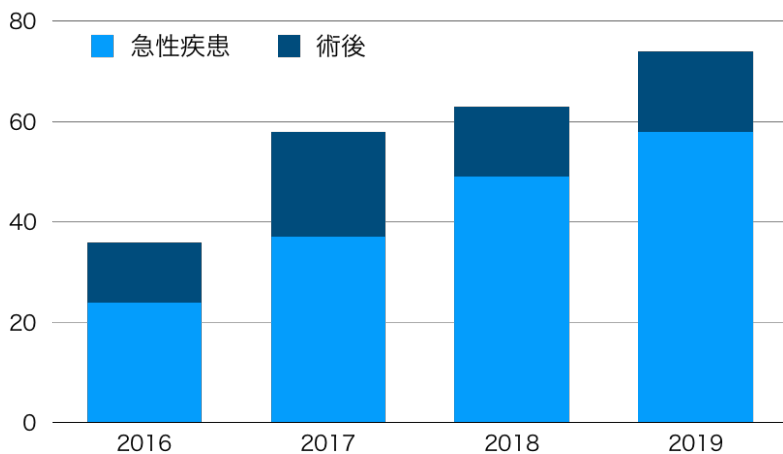
ドクターヘリ基地を擁する救命救急センターや、16床の特定集中治療室(成人と共用)などと連携して高度救命医療を行っています。成人とは異なり、小児の専門的な集中治療に対応できる医療スタッフや施設は全国的にも限られています。

当センターには人工呼吸器(新生児から対応)、非侵襲的人工呼吸器(NIV)、ネーザルハイフロー療法、NO療法(アイノフロー)、体外式膜型人工肺装置(EMCO)、持続腎代替療法装置(CRRT)、血漿交換(PE)、低体温装置(Arctic Sun)、頭蓋内圧(ICP)モニター、自動瞳孔計(NPi)、終日脳波記録装置(aEEG)、硬性気管支鏡、極細径気管支内視鏡などを備えており、体の小さな小児であってもこれらの特殊治療に24時間体制で対応しています。





小児 ICU 患者数 推移



患者搬送元地域(2年間)



小児集中治療実績

|                |            |
|----------------|------------|
| 人工呼吸器(IMV)     | 年間 40-70 件 |
| 非侵襲的人工呼吸器(NIV) | 年間 10-20 件 |
| ネーザルハイフロー療法    | 年間 5-10 件  |
| 一酸化窒素(NO)療法    | 年間 2-3 件   |
| 血漿交換(PE)       | 年間 5-6 件   |
| 急性血液浄化(CRRT)   | 年間 2 件     |
| 体外式膜型人工肺(ECMO) | 年間 2 件     |

※最重症の呼吸循環不全に用いられる ECMO は 1993 年以来累計で 58 件、直近 10 年間で 20 件の実施実績があります。



## 施設概要

名称：手稲溪仁会病院

病床数：670床 診療科：36科 医師数：255名

地域医療支援病院、救命救急センター、道央ドクターヘリ基地施設、北海道メディカルウイング運航管理病院

災害拠点病院、臨床研修指定病院、地域周産期母子医療センター、小児救急医療支援病院

日本小児科学会専門医研修基幹施設、日本集中治療医学会研修認定施設、日本救急医学会専門医指定施設

## 小児科概要

小児病棟 27床、NICU6床、GCU6床、特定集中治療室 16床（小児用ベッド4床）

所属医師数：17名（うち後期研修医4名）

認定資格：小児科専門医10名、小児循環器専門医3名、PALSインストラクター3名、集中治療専門医2名、

麻酔科標榜医2名、他 アレルギー専門医、内分泌代謝科専門医、麻酔科専門医、救急専門医、JPLSインストラクター

コメディカル：チャイルドライフスペシャリスト、薬剤師、医療クラーク、医療秘書、保育士





連絡先：

医療法人溪仁会 手稻溪仁会病院

〒006-8555 札幌市手稲区前田一条 12-1-40

電話：011-681-8111（代表）

FAX：011-685-2998

小児科 HP



小児科 Face book

